

まちづくり ニュース



ホームページ

<http://www.geocities.co.jp/HeartLand-Icho/3732/>



142号
2012年7月17日

ときわ台の景観を守る会

ときわ台まちづくり委員会

代表 鈴木博之 近藤洋子

事務局 島田晴子 tel・fax 3960 - 3869

協力金振込先 郵便局00110-3-739728 ときわ台の景観を守る会

○ 訂正

前号で「常盤台が区の景観重点地区に指定される」とお伝えしてしまいましたが、正しくは「2年後の指定を目指す方向」でした。訂正します。

○ 「最高限度高度地区及び敷地面積の最低限度の導入について」の区側説明

7月16日（祝）常盤台地域センターで、地域懇談会と称する説明会がありました。

常盤台に「高度利用を図る街並み」をなぜ導入？

不思議なことに常盤台北口駅前が高度利用を図る街並みとなっており、都市計画を学んだ人ならば、板橋区がこれから景観重点地区に選ぶとしている良好な低層の住宅地に近接して、成増や大山と同じ高層建築街を想定するなど、ありえない方針でした。建蔽率・容積率を根拠に作っただけ、と言う説明でしたが、では区民の意見を容れて変更可能ですか？という質問にはきちんと答えていませんでした。

そもそも2003年タカラレーベンのマンション問題の際、住民が集めた反対署名は5700余り、常盤台の殆どの住民が反対したのです。この署名を無効にしないため、都市建設委員会に陳情を出し続けています。ですからこの区の方針は常盤台住民の総意を無視しているのです。変更を強く求めます。

総じて板橋区の姿勢は、業者寄りで住民をないがしろにしているように思えてなりません。私達は第3・第4の裁判を予定しなければならぬのでしょうか？

都市計画をきちんとしようという流れは評価できるのですから、もっと民主的な意識改革を！

○ 元暫定駐輪場のその後

—道路はだれのためのもの—

7月17日、土木部交通安全課の赤松課長、道路計画課長、他4名の職員の方々と面談しました。

元暫定駐輪場は10月頃には道路に戻りません。常盤台小学校正門前の信号機は、中央図書館の交差点に移動し、正門前には、ガードレール（可動）が設置されます。

道路に原状回復するのは区の仕事で、信号機や交通標識を取り付けたり、速度等の規制をするのは警察の仕事だそうです。

道路というと、すぐに車道をイメージしますが、ときわ台のグリーンベルトの道はやはり、歩く人本位の道路がいいと思いましたので、この元暫定駐輪場の道路は、歩行者優先道路にしてほしいと話してみましたが、もう工事契約も済んでいて、計画は進んでいるので、今から変えることは出来ないと言うことでした。

地域住民としては、暫定駐輪場が撤去されることに安堵したあまり、その後の道路のありかたにまで、考えが及びませんでした。残念です。

ところで、せっかく駅前の一等地にできた駅前駐輪場は「満」のサインがでているのを私は見たことがありません。「空」があるにもかかわらず、駐輪場の周辺には放置自転車がなくなりません。路上に止めている人は放置している時間の長短に係わりなく、要は、お金を払うことに抵抗があるのでしょうか。今までは、無料で、しかも管理人がいた駐輪場にとめることができたのですから無理もないのでしょうか。

元暫定駐輪場が道路に戻ったら、また放置自転車があふれないように、この場所には指導員をつけるべきですし、区は、駐輪場の稼働率があがるよう、利用者へ働きかけるとともに、放置自転車は速やかに撤去することを続けていかなければいけないと思っています。 K

常盤台公園から見える

スカイツリー

皆さんスポットは見つかってましたでしょうか。公園の正面入り口にガードレールがあり、駅寄りのガードレールの真ん中ぐらいい立って東側を見てください。階段の切れ目にスカイツリーの先端が見えます。道路を渡った駐車場の横からの方が良く見えます。もっとも樹の葉が茂ってきたので、これからは見つかりにくいかもしれません。

原発反対集会に行ってみました

一六日(祝)代々木公園で集会があるということで、常々何か意思表示をしたいと思っていたので思い切って行ってみました。集会には遅刻、デモ行進に途中から割り込んで二時間ほど大勢と歩きました。若い子供づれの夫婦などが多く、日本の未来の切実な問題なのだと思います。お年寄りも休み休み列を離れたり戻ったりして参加していました。周りは長野からの人達で、連呼は「原発要らない・再稼働反対・電力は余ってる・野田はノーだ、でした。」

アンペアダウンのお勧め

「オール電化」の掛け声がかまびすしかった頃、アンペア数を結構高く設置した人がいたのではないのでしょうか。東電はそのアンペア契約数から電力需要を算出するのなら、結局原発推進戦略に引っかけたわけです。各家庭で無駄なアンペア数を減らす動きが出ています。

訃報 斯波都代子さん

まちづくり運動に、故夫君と尽力なさった二丁目の斯波都代子さんが六月十二日に亡くなられました。喘息が悪化ということでは聞いていましたが、数年前から別の大病が進行、それは伏せられていましたので、びっくりした人が多かったと思います。

常盤台小学校第一期生で、人一倍常盤台のまちに対する誇りと愛着を持っていました。町会で子供達のドッジボールの世話をずっとしていました。自宅が相続問題で分割せざるを得なかった際、一部を曳き家して文化財として残しました。建築士ではなく建築家としてのプライドを高く持った人でした。

ご冥福をお祈りします。お別れ会は八月五日(日)ご自宅で行われます。

東日本災害の被災地から

被災地の瓦礫処理について、受け入れ云々の問題がありました。受け入れをしづる自治体はまるで非協力者扱いをされています。

しかし、当の被災者からこういう事情を聞きました。瓦礫処理については産廃業者が復興事業ということ、1トン二万円の相場が六万数千円になっているので、自治体をつついて進んで手を挙げさせているのだ。現地の業者を使えば雇用も生まれ、汚染を拡散させるのではなく、埋め立てて土地のかさ上げに使うべきだ、と言う意見でした。

真実はなかなか見えてこないものです。

常盤台公園のはなづくり

六月というのに台風が来たのには驚きました。咲き出したばかりで頭の重いユリが何本か強風で折られました。いくつかは添え木をして助かりました。公園はケヤキの枝が沢山落ちていました。

二丁目の五差路の緑地帯に生えている木(名前不明)が倒れたので、Sさんたちが応急処置の上、公園課に依頼すると直ぐに来てくれて途中から切るしかないとの判断。公共地の樹は大事なのでお任せしました。

ユリは大部分が増えています。花期がまちまちなので、全体としては二ヶ月近く楽しめます。カサブランカが最後を飾ります。

毎年アガパンサスが長い茎の先に、薄紫や白の花火のような涼やかな花を見せてくれます。病気にもならず、虫もつかず、しかも常緑という優等生です。香りが無いのと四季咲きでないのと美味しい実がならないのが欠点、なんていうのは無理なことですね。

皇帝ダリアは池の向こうに移植してもらいましたので、今年は花が見られるかもしれません。請うご期待。まだまだ先の話ですが・・・ヒマワリの種が余っていたので角の花壇に蒔いてみました。どうなりますか。

定例会八月四日(土)七時

「ギャラリー服部」にて